

目標1 ふれあい、交流が盛んな地域をつくる

施策の方向性（1）

人と人がつながり交流できる地域づくりを支援します

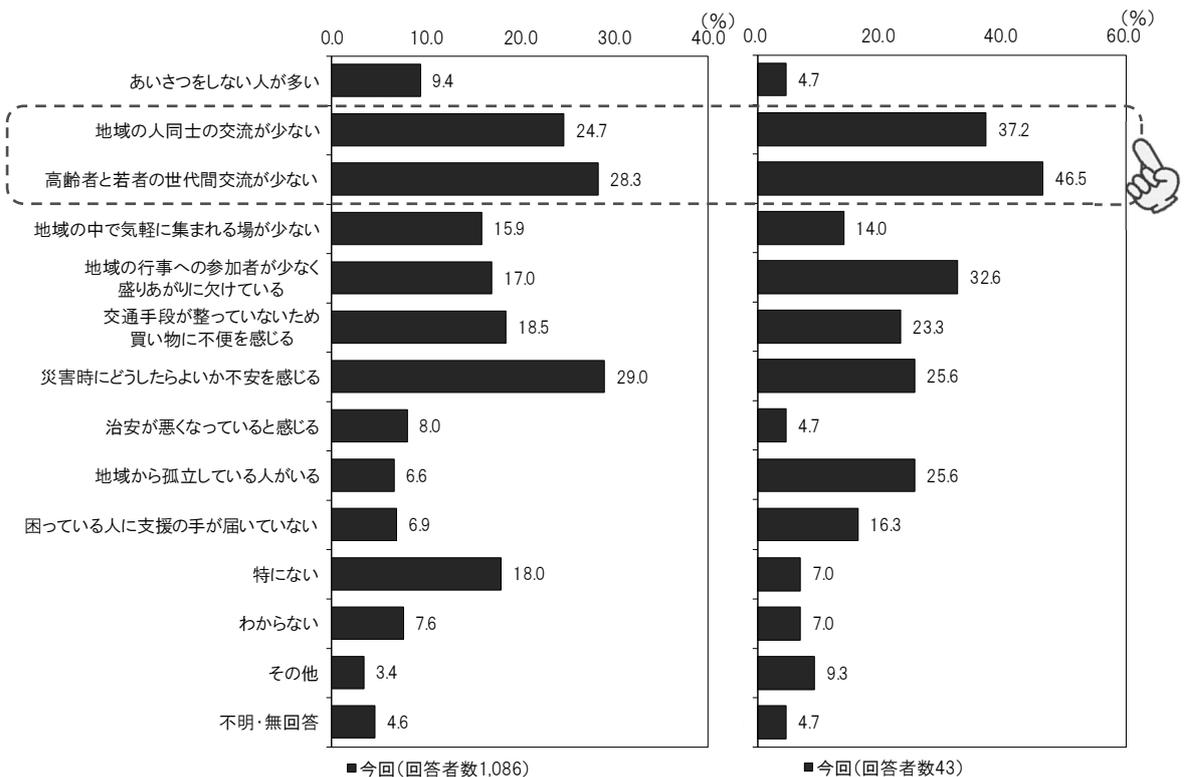
現状と課題

近年、一人暮らし高齢者や核家族世帯の増加等、世帯の少人数化が進行し、地域のつながりの希薄化が課題となっています。

本市においても、地域の中で課題に感じることとして、世代間交流の少なさ、地域の人同士の交流の少なさが、市民及び団体・事業者アンケートから多く挙がっています。

日常的に地域住民同士がふれあい、交流できる場や機会の充実に取り組む必要があります。

■地域の中で課題に感じること



(市民アンケートより)

(団体・事業者アンケートより)

取り組みの方向性

地域で暮らす誰もがあいさつや声をかけあい、地域のお祭りや体育祭といった自治会の行事等に参加することにより、身近な場所で人と人がつながり交流できる地域を目指します。そして、みんなで気軽に集まれる「ふれあいいきいきサロン」や「地域のお茶の間」等交流できる場の充実を図ります。

こんな地域を目指そう

みんなで気軽に何でも話し合える地域



いろいろな世代と交流できる地域



実現するための取り組み

自治会活動を支援します

《自治会活動振興事業》

地域コミュニティ活動の中心的役割を担う自治会の活動を支援するため、活動拠点である自治会館の改修や掲示板の設置等に対して補助します。

また、公民館内の地区センターが相談窓口となり、地域をサポートするとともに地域コミュニティに対する理解を図ります。

【担当】自治振興課

みんな仲良く助け合って暮らしていこう！

自治会に加入しましょう！



自治会とは…自治会は、地域に住んでいる人たちがお互いに協力し合って、安全・安心の住みよいまちづくりを目指す自主的に組織された団体です。

《地域で取り組む環境美化活動》

子どもから高齢者まで地域で美化活動に取り組むことにより、地域コミュニティを活性化します。

【担当】環境課、環境衛生課

令和7年度の目標値



指標

自治会加入率

現状値
(平成28年度)

73.6%

目標値
(令和7年度)

73.6%

市における全世帯のうち、自治会に加入している世帯の割合。
※この指標は第2次深谷市総合計画で設定された指標であるため、現状値が平成28年度の値となっています。近年、社会構造の変化による価値観の多様化等により、自治会への加入世帯の割合が年々減少傾向にあることから、平成28年度の水準を令和7年度においても維持することを目標とします。

地域の中の交流の場を紹介します

ふれあいいきいきサロン①

身近な地域で誰もが参加できる、「ふれあいいきいきサロン」を行っています。

開催日時や内容などを記した回覧用チラシの作成や備品の貸し出しの支援などを社会福祉協議会が行い、運営は地域の皆さんで行っています。

人との会話や外出の機会のあまりない高齢者、子育ての悩みを聞いてほしいお母さんなど、地域住民が楽しく過ごせる場を提供し、仲間づくりを通して、安心して生活できる地域づくりを目指しています。

【担当】社会福祉協議会



地域のお茶の間

身近な場所で気軽に集まることができる、市民同士の多様な“出会いの場”、“交流の場”、“仲間づくりの場”です。

空き部屋やスペースを活用し、生きがいと交流、仲間づくりを進める「地域のお茶の間」として、我が家に居るような感覚で、わいわい賑わってもらえる場です。

平成 31 (2019) 年 4 月 1 日現在、市内 27 か所の登録があります。
(詳細は市ホームページ内で「お茶の間」で検索)

【担当】福祉政策課

お茶の間



もくせい館情報交流カフェ (もくもくカフェ)

「気の合う人と話したい」「何か新しいことをやってみたい」「同じ趣味の仲間をみつけない」「仕事仲間をみつけない」「いろいろな情報を知りたい」という方が集まり自由に交流できます。

(おおむね 60 歳以上の方が対象)

【担当】長寿福祉課



こども食堂

子どもたちに食事と居場所を提供し、子どもと地域をつなぐ役割を果たしている「こども食堂」。その活動が現在全国で広がっており、安価な料金で子どもや親子に食事を提供しています。

- ふかや子ども食堂まめっこ
活動団体：NPO法人イエローハーツ
- ふかやなの木食堂
活動団体：ふかやなの木食堂
- 深谷はなっ子食堂
活動団体：花園子ども食堂運営委員会

【問い合わせ先】社会福祉協議会



その他関連事業

青少年健全育成環境づくり

こども青少年課

次代を担う青少年を、心身ともに、たくましく健やかに成長させることを目的とし、「深谷市子どもサポート市民会議」の活動をサポートするなど、地域が主体となって青少年健全育成活動に取り組むことへの支援を行います。

施策の方向性（２）

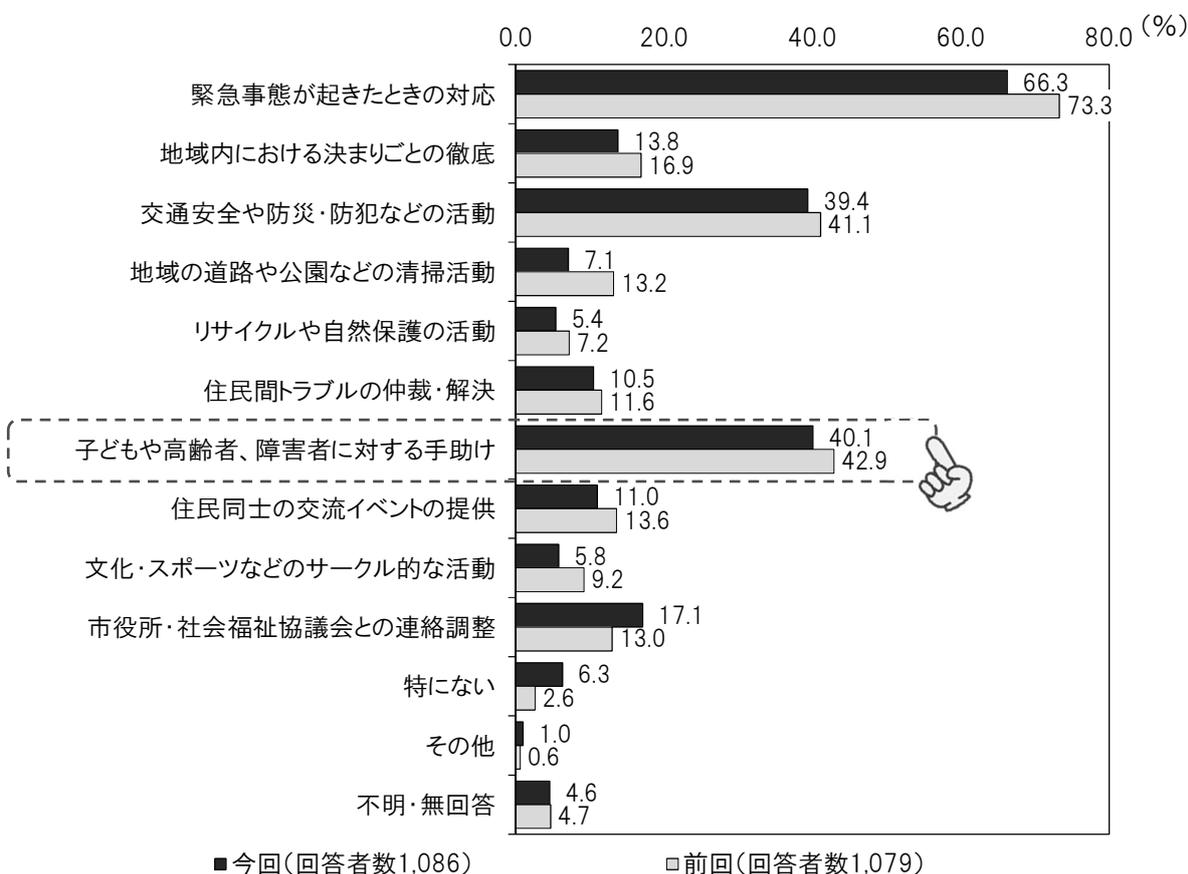
社会参加しやすい環境づくりを支援します

現状と課題

住民同士のふれあい、交流を盛んにするためには、社会参加しやすい環境づくりが重要です。障害者等に対する理解を深め、心のバリア（障壁）を取り払うことや、交流の場に誰もが気軽に出向くための交通手段の整備などがあげられます。

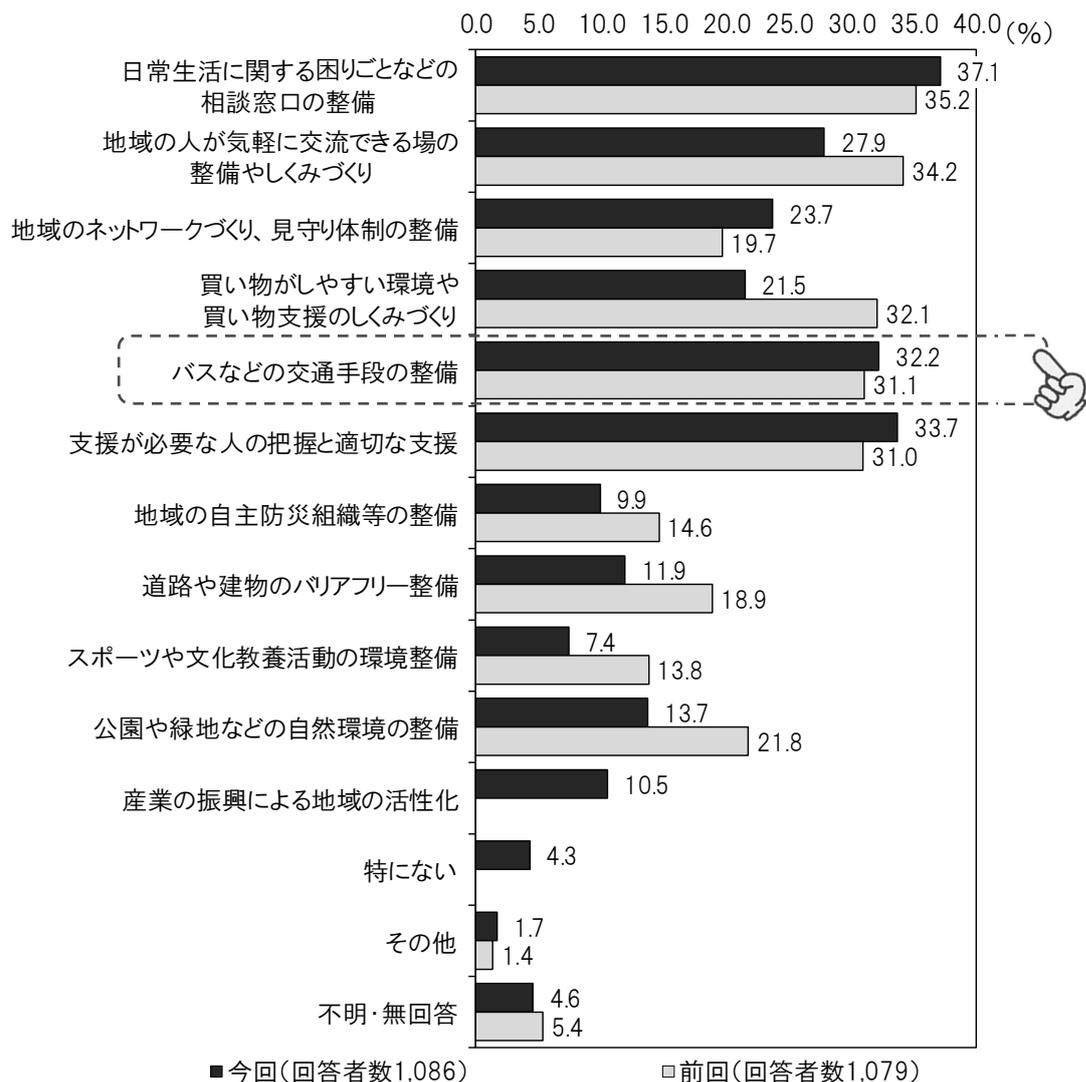
市民アンケートでは、組織や団体に期待することとして、子どもや高齢者、障害者に対する手助けがあげられており、地域での関心の高さが伺えます。また、地域の暮らしを豊かにするために、交通手段の整備を求める声が多くなっています。社会参加しやすい環境の整備に向けた、より一層の取り組みが必要です。

■地域にある組織や団体に期待する活動



(市民アンケートより)

■ 地域での暮らしをより豊かにするために必要なこと



* 前回には選択肢「産業の振興による地域の活性化」「特にない」がない。
(市民アンケートより)



取り組みの方向性

障害者や認知症の方等に対する理解を深めるために、講演会や講座等を開催することにより、心のバリア（障壁）を取り払い、誰もがお互いを認め合い交流が盛んな地域づくりを推進します。

また、子育て世代や高齢者、障害者等にとっても暮らしやすい住環境の整備や、交流の場に出向くための様々な交通手段の整備をします。

こんな地域を目指そう





社会参加しやすい環境を整えます

《障害者等への理解を深める講演会等》

福祉サービス事業所、民生委員・児童委員や、市民の方に向けて、障害者等に対する理解を深めるための講演会等を実施します。

【担当】障害福祉課



《認知症サポーター養成講座の開催》

認知症に関する基本的な知識や対応の仕方を学び理解することで、認知症の方やその家族を地域で支える認知症サポーターを養成します。

【担当】長寿福祉課



《子育て世代や高齢者、障害者等、誰もが住みやすい住環境整備》

子育て世代や高齢者、障害者等の誰もが安心して暮らしやすい魅力あるまちを目指し、計画的な土地利用を進めています。

【担当】都市計画課

令和7年度の目標値



指標

現状値
(平成30年度)

目標値
(令和7年度)

障害者や認知症の方等に対する理解を深める講演会や講座等の実施回数

25回



33回

障害者等への理解を深める講演会等の実施回数（現状値2回→目標値3回）と、認知症サポーター養成講座の実施回数（現状値23回→目標値30回）の合計。

※講演会に参加する人や養成講座を受講する人が増えることで、障害者や認知症の方への理解促進が期待されることから、令和7年度までに現状値より回数を増やしていくことを目標とします。

社会参加に向けた取り組みを紹介します



福祉健康まつり

専門家による健康チェックや、各種相談コーナーで体の気になる箇所を相談することができます。また、アトラクションや福祉団体による屋台ブースなど併せて約 100 団体が参加し、まつりを盛り上げています。

毎年 10 月頃に行われますので、是非ご来場ください。

【担当】福祉政策課



障害者スポーツ大会

スポーツを通じて互いに親睦を深め、心と体のリフレッシュを図るとともに、障害の有無にかかわらず市民同士の交流、障害に対する理解を深める機会として、ふれあいスポーツ大会を実施しています。

大会では、玉入れ等の競技のほか、スポーツ体験教室に参加することもできます。

【担当】障害福祉課、生涯学習スポーツ振興課



障害者文化作品展

障害者による絵画、写真、書、手工芸品、俳句、川柳、彫刻、陶芸等の作品を幅広く展示・公開する作品展を開催しています。

障害者が作品展を目指して創作活動に意欲的に取り組むことや、障害の有無にかかわらず市民同士の心のふれあいを促しています。

【担当】障害福祉課



農福連携の取り組み

《障害のある方の就労支援》

障害者支援関係事業所で構成された連絡会が、農作業等の仕事を共同受注し、障害のある方の就労支援をしています。

就労により、障害のある方が自立した生活を送れるよう、多様な就労機会の一つとして農業分野と連携し雇用機会の確保と社会参加を促進しています。

●深谷市ふっかちゃんJO 連絡会

*「JO」とは、Joint Order (ジョイントオーダー) の略で共同受注の意味。

【担当】障害福祉課



コミュニケーション支援

《要約筆記者・手話通訳者の派遣》

聴覚に障害のある人の意思疎通を支援するため、要約筆記者及び手話通訳者の派遣を行っています。

【担当】障害福祉課、社会福祉協議会



《手話奉仕員及び手話通訳者の養成》

手話を学びながら、聴覚障害について知識と理解を深めるとともに、手話通訳ができる人材を養成するための講座を行っています。

【担当】障害福祉課、社会福祉協議会



多様な移動手段の展開

《福祉タクシー》

障害者手帳の交付や介護認定を受けており、一定の基準を満たす方に対し、埼玉県内の協定タクシー業者を利用する際、初乗運賃相当額を助成できる福祉タクシー利用券を交付しています。

【担当】 障害福祉課、長寿福祉課

《ねたきり高齢者等移動支援》

自力で移動できない要介護者に対し、寝台専用車両による移動サービスの利用料金を助成しています。主に自宅と医療機関等との送迎のための交通手段としてご利用いただけます。

【担当】 長寿福祉課

《福祉車両の貸出》

障害者や介護認定を受けている方に対し、交通手段として福祉車両（リフト付き、スロープ付き、シート回転式）の貸し出しを行っています。

【担当】 社会福祉協議会



《運転ボランティア派遣》

障害者や介護認定を受けている方へ通院や買い物、公共施設への手続き等の交通手段として、運転のボランティア派遣を行っています。

【担当】 社会福祉協議会

《コミュニティバス》

深谷市コミュニティバス「くるリン」は、深谷駅を中心にダイヤとルートが決められている定時定路線型バスと、利用者が事前に乗りたい場所や時間を予約するデマンド（事前予約型）バスの2種類を運行しています。

【担当】 都市計画課

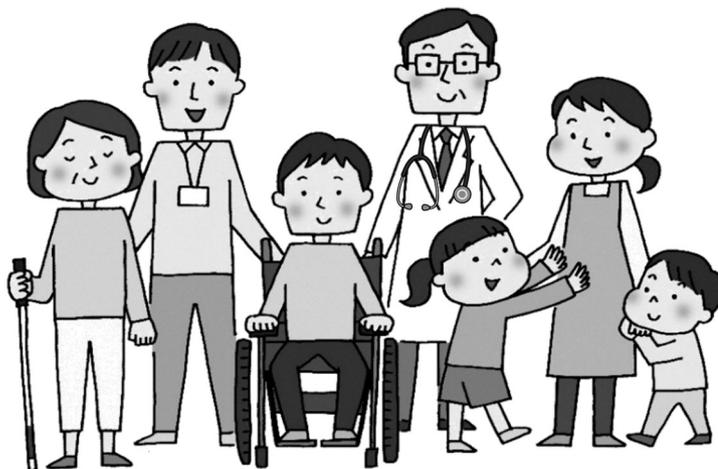
その他関連事業



ユニバーサルデザインの普及啓発

協働推進課

すべての人が利用しやすい施設、物（製品）、環境、サービス等をつくる、ユニバーサルデザインのまちの実現に向けて、市民向けの啓発冊子を配布し、ユニバーサルデザインの実現に不可欠な、市民一人ひとりのちょっとした思いやりや手助けを促しています。



施策の方向性（3）

健康づくりで地域を明るくします

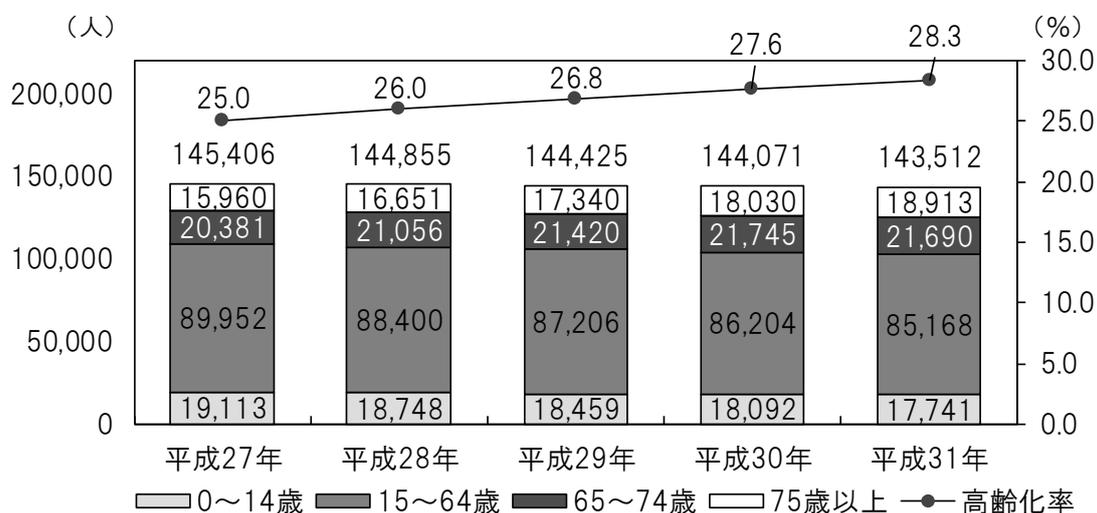
現状と課題

誰もが地域でいつまでも健康でいきいきと暮らすためには、要介護状態になることを防ぐことが重要となります。

全国的な高齢化の進行に伴い、本市においても要支援・要介護認定者数は増加傾向にあります。

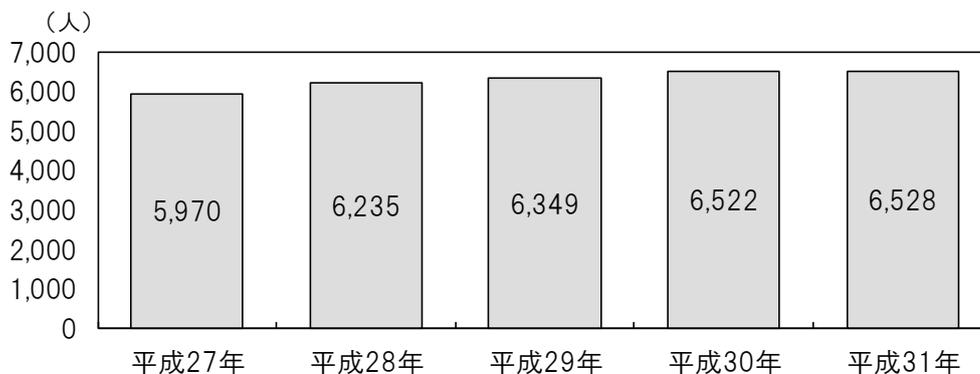
継続的な健康づくり活動、スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民の心身の健康づくりに取り組む必要があります。

■年齢4区分別人口の推移



資料：市民課（各年4月1日現在）

■要支援・要介護認定者数の推移



資料：大里広域市町村圏組合（各年3月31日現在）

取り組みの方向性

イベント等に参加しながら楽しんで健康づくりを行うことができる「ためるんピックふかや」（市健康マイレージ事業）の実施や、地域での新たな交流の場としての「住民主体の通いの場」を支援することにより、健康でいつまでも元気に暮らし続けられる地域づくりを推進します。

こんな地域を目指そう



実現するための取り組み

地域主体の健康づくり活動を推進します

《ためるんピックふかや（市健康マイレージ事業）》

市民の健康づくり活動をポイント化し、ポイントが貯まったら景品と交換できる「ためるんピックふかや」を市全体の協働の取り組みで実施します。

【担当】保健センター



地域主体の健康づくり活動を推進します

《住民主体の通いの場》

「住民主体の通いの場」の活動を支援します。

※「住民主体の通いの場」とは、住民の皆さんが自ら主体となって、地域の中で歩いて通えるような場所で、重りを使った体操「深谷㊦っかつ体操」を行うことで、介護予防と地域での見守りや支え合いを促進する取り組みの事です。

【担当】長寿福祉課

準備運動（6種類）

- ・ 深呼吸
- ・ 肩と脇腹伸ばし
- ・ 体幹ひねり
- ・ 前曲げ後ろ曲げ
- ・ 膝うら伸ばし+胸広げ
- ・ 深呼吸

深谷㊦っかつ体操（6種類）

- ・ 腕を前に上げる運動
- ・ 腕を横に上げる運動
- ・ 椅子からの立ち上がり
- ・ 膝を伸ばす運動
- ・ 脚を後ろに上げる運動
- ・ 脚を横に上げる運動

体操を行うときは、介護予防サポーター（ふっかファイン）が支援します。



令和7年度の目標値



指 標

普段の生活で健康づくりに
取り組んでいる市民の割合

現状値
(平成 28 年度)

65.4%



目標値
(令和7年度)

74.4%

「運動や歩くことなど普段の生活で健康づくりに取り組んでいる」と答えた市民の割合。
※この指標は第2次深谷市総合計画で設定された指標であるため、現状値が平成 28 年度の値となっています。健康づくりに取り組むことは、地域の中でいつまでもいきいきと暮らすために大切なもので、心身の健康に寄与することが期待されることから、年1%の増加を見込み目標とします。

地域の健康づくり活動を紹介します



ふれあいいきいきサロン②

16 ページで紹介した「ふれあいいきいきサロン」では、活動内容として散歩や健康相談、介護予防教室などを実施しており、高齢者の健康づくりにもつながっています。

サロンに通うことで外出の機会が増え、生活に張りがで、楽しみが増えることで、介護予防につながっています。

【担当】社会福祉協議会



その他関連事業



スポーツ・レクリエーション活動活性化

生涯学習スポーツ振興課

市民のスポーツ・レクリエーション活動の推進と健康の保持増進に向けて、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の活性化に取り組むとともに、市民活動団体が実施する市民大会・各種市民教室の運営支援を行います。